

<知ってください保健師の仕事>

鯖江市役所健康福祉部健康づくり課 松田千津子保健師

- ・昭和40年生まれ
- ・看護・地域看護実習で鯖江市へ
- ・レジェンド保健師 鮎谷さん・・・パワー全開すごい人だなあ
- ・平成元年鯖江市役所入庁 35年
- ・保健師とは・・・国家資格、医療職 看護師資格が必須 行政保健師と産業保健師
- ・地域で暮らすすべての人々が健康で安心して生活できるように
- ・看護師と保健師の違い・・・患者個人のケア／個人だけでなく家族全体をケアする、予防の視点、地域全体をみる
- ・地域課題を事業化、施策化、仕組み作り！ 保健師のやりがい！！
- ・どんな家でも、血圧計、聴く耳、があれば家には入れる！
- ・健康教育で寸劇、健康指導、機能訓練事業、育児相談・・・
- ・鯖江市の強み・・・地区組織活動（愛育会）
- ・歴史：介護保険制度 H12～で介護支援事業は終了、H18 地域包括支援センター設置、H21 ゲートキーパー養成（自殺対策）、H28 健康カフェスタート、R2 コロナ対策室
- ・命を守る究極の仕事2選・・・①災害対応、②感染症対策
- ・①災害対応・・・(1)福井豪雨：地区担当保健師の献身的な対応、早期初期訪問の実現、受援体制の重要性 (2)東日本大震災：心の支援チーム派遣要請、保健師も被災者、自分で考えて動く、住民の力を借りる、地区組織の重要性、保健活動が被災時にも役立つ
- ・②感染症対策・・・啓発活動、情報発信、保健所業務支援、高齢者の健康悪化、短期間のワクチン接種体制整備
- ・ほっとけんのよ、しみんのこと。
- ・健康づくり課に8名、長寿福祉課3名、社会福祉課1名
- ・産後ケア、幼児健診、健康診査、ガン検診、健康増進事業、健康づくり推進員活動・・・
- ・最近では複合的な課題を抱えた困難事例が多く、支援が長期化しやすい
- ・多職種連携・チームで支援・・・栄養士、訪問看護師、社会福祉士・・・
- ・課題：人材確保（保健師活動の魅力発信）、人材育成（やりがい）
- ・住むだけで幸せ・健康になるまち鯖江
- ・鯖江らしさを活かした健康づくり：地域が元気！人との交流の機会が多い→健康につながる

<意見交換>

- ・災害での支援経験が保健師としてのその後の活動に影響
- ・保健師としての仕事の幅が広がってきている

- ・心に寄り添える身近な保健師を育てたい
- ・人材が限られていてもチームで健康のために取り組む
- ・普段の健康増進活動がいざというときの動き・働きに影響する

鯖江市健康づくり課を牽引するパワフル保健師・松田さんの、これまでの貴重な経験から、多くの気づきをいただきました。

地域のつながりが重要であること、普段の顔と心が見える関係性が地域全体の安心につながっていること・・・今回の出会いを元にまたさらに保健師という職業が身近になることを願っています！

松田さん、本当にありがとうございます！

事務局で、今回の話を受けてできそうなことがあればどんどんつなげていこうと思います。どうぞよろしく願いいたします。

<活動の共有>

- ・大人の遠足（コミバスを利用し、市内の名所を巡るツアー）第24弾は7月16日（日）10時～ 第25弾は9月10日（日）10時～ 行きたい場所募集中！